

◎教科書「高等学校 日本史探究」p.130～157を読んで、次の課題に取り組みましょう。

1. 「江戸時代中期」について、次の各問に答えなさい。

(1) 次の図・資料を見て、下の①～⑧の問いに答えなさい。【思考・判断・表現】解答番号1～10



① 左の地図について、以下の問いに答えなさい。

a. これは、江戸時代中期に発生した大火の被害状況を示している。その大火を何というか、答えなさい。解答番号1

b. この大火が発生した頃の出来事について述べた以下の文章の正誤

の組み合わせとして正しいものを、下の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。解答番号2

(X) 兵学者の由井正雪が幕府転覆を計画する慶安事件がおこった。

(Y) 幕府は牢人を生み出さないように、末期養子の禁をゆるめるなど、文治政治へ転換した。

(ア) X-正 Y-正 (イ) X-正 Y-誤

(ウ) X-誤 Y-正 (エ) X-誤 Y-誤

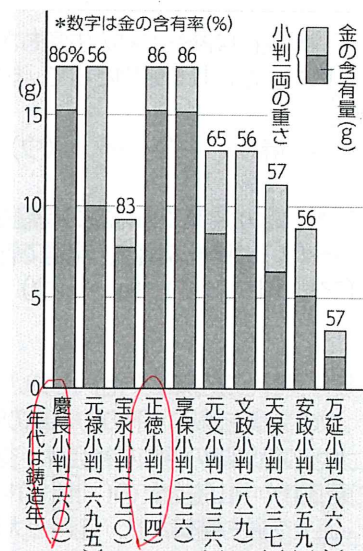
② 右のグラフを見て、以下の文章の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。解答番号3

(X) 17世紀末、幕府は金の含有量を減らした宝永小判を発行した。

(Y) 正徳の政治の時期に、慶長小判と同品位の小判を発行した。

(ア) X-正 Y-正 (イ) X-正 Y-誤

(ウ) X-誤 Y-正 (エ) X-誤 Y-誤



③ <史料>を読み、この時代、武士にはどのような資質が求められていたか、下の(ア)～(ウ)より一つ選び、記号で答えなさい。解答番号4

(ア) 勇猛果敢な武将 (イ) 民を安定させる統治者

(ウ) 清貧で体面を重視する道徳者

<史料>

將軍は日本国中の人民を天から預かって統治している。藩主は一国の人民を將軍から預かって統治している。したがって、領民を困窮させるようなことになるのは、將軍からのお恵みを減らしてしまう行為である。少しでも將軍のお恵みを増やして、この安定した世の中が長く続くように願ひ、無事の忠を尽くすことが肝要である。

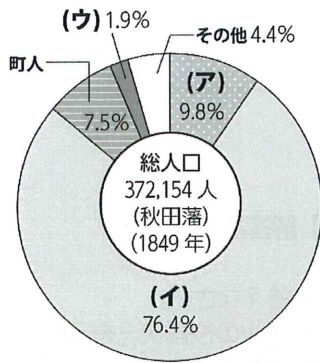
④ 右の写真について、以下の問いに答えなさい。

a. これは何を描いたものか、下の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。解答番号5

(ア) 東照宮 (イ) 江戸城 (ウ) 湯島聖堂 (エ) 浅草寺

b. この建造物の整備をおこなった將軍は誰か、答えなさい。解答番号6





⑤ 左上の円グラフは身分別人口構成を示したものである。苗字・帯刀を許されていた身分の人口割合はどの程度であったか。グラフ中の(ア)～(ウ)より一つ選び、記号で答えなさい。解答番号7

⑥ 右上の棒グラフは、上が耕地面積、下が石高の推移を表している。江戸時代の農業生産について述べた文章の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。解答番号8

(X) 新田開発がすすめられた結果、江戸時代初期～中期にかけて耕地面積が約 1.8 倍に増加した。

(Y) 田畑永代売買禁止令や分地制限令の影響で、石高は増加しなかった。

(ア) X—正 Y—正 (イ) X—正 Y—誤 (ウ) X—誤 Y—正 (エ) X—誤 Y—誤

⑦ 江戸時代には商品作物の生産もさかんになった。例えば、京都の宇治では宇治茶が名産となったが、茶と同様に「四木」とされる植物として、誤っているものを、下の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。解答番号9

(ア) 麻 (イ) 楮 (ウ) 桑 (エ) 漆

⑧ 農業のほか漁業でも地域の特産品が生まれた。千葉県の大湊周辺の特産品として正しいものを、下の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。解答番号10

(ア) 鰹 (イ) 鰯 (ウ) 鯨 (エ) 鰺

2. 「江戸時代の経済と文化」について、次の各問に答えなさい。

(1) 次の文章を読み、下の①～⑧の問いに答えなさい。【知識・技能】解答番号11～20

大坂の役以降の平和な社会は、交通網の発達をもたらした。陸上交通においては、幕府が江戸の日本橋を起点に東海道や中山道などの(11)を整備した。街道沿いには宿場町(宿駅)を設け、人馬などを常備させた。

海上交通も整備され、江戸と大坂を結ぶ南海路には、大型帆船である(12)や小型の樽廻船が就航していた。交通の要所には人が集まり、都市が形成されていった。

交通網の発達、流通の発達をもたらした。流通の中心となったのは、大坂であった。諸藩は大坂に(13)を設け、年貢米や名産品を売りさばいた。また、納屋物とよばれる民間の商品も流通し、江戸や大坂に卸売市場も現れた。交易には三貨や藩札が使用されていた。

平和な社会は、文化の形成にも寄与した。江戸前期は桃山文化の流れをくむ寛永文化、京都・大坂の「上方」を中心に町人が担い手となる元禄文化が展開された。また、学問の発展も多くみられ、「浮世」の名にふさわしい豊かな社会が展開されていた。

① 文中の空欄11～13に当てはまる語を、下の語群から1つずつ選び、記号で答えなさい。解答番号11～13

語群：(ア) 蔵屋敷 (イ) 株仲間 (ウ) 菱垣廻船 (エ) 脇街道 (オ) 五街道 (カ) 北前船

② 下線部①について、宿場町の町人らが人馬を負担する伝馬役があったが、このほか、不足分の負担を何というか、答えなさい。解答番号14

③ 下線部②について、海上交通の難点は海難であった。その損害を補償するためにつくられた組織のうち、江戸でつくられたものを何というか、答えなさい。解答番号15 *P.139*

④ 下線部③について、寺社を中心に発展した都市を何というか、答えなさい。解答番号16

⑤ 下線部④について、大坂の市場と扱っていた商品の組み合わせとして正しいものを、下の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。解答番号17 *P.136*

(ア) (場所): 雑候場 (商品): 米 (イ) (場所): 天満 (商品): 米

(ウ) (場所): 雑候場 (商品): 魚 (エ) (場所): 天満 (商品): 魚

⑥ 下線部⑤について、以下の文章の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。解答番号18

(X) 三貨とは金貨・銀貨・銭貨であり、いずれも重さをはかって使用する計数貨幣であった。 *P.139*

(Y) 藩札とは、藩内に限って使用できる紙幣であった。

(ア) X-正 Y-正 (イ) X-正 Y-誤 (ウ) X-誤 Y-正 (エ) X-誤 Y-誤

⑦ 下線部⑥について、元禄文化に関係する語として正しいものを、下の(ア)～(エ)より二つ選び、記号で答えなさい。解答番号19-1・19-2

(ア) 数寄屋造 (イ) 井原西鶴 (ウ) 人形浄瑠璃 (エ) 本阿弥光悦

⑧ 下線部⑦について、この時代の学問に関係する人物と事績の組み合わせとして正しいものを、下の(ア)～(ウ)より一つ選び、記号で答えなさい。解答番号20 *P.140*

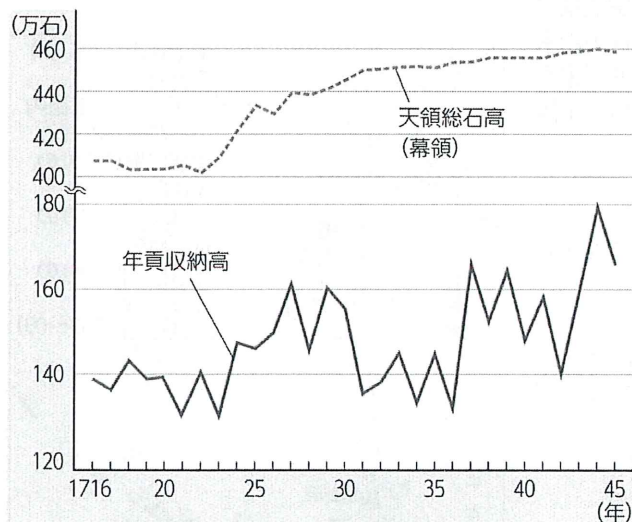
(ア) (人物): 荻生徂徠 (事績): 孔子・孟子の原典研究を重視した古学派を確立させた。 *P.141*

(イ) (人物): 新井白石 (事績): 本草学などの自然科学を発展させた。

(ウ) (人物): 渋川春海 (事績): 『万葉集』や『源氏物語』の研究をおこなった。

3. 「江戸時代の改革」について、次の各問に答えなさい。

(1) 次の図・資料を見て、下の①～⑤の問いに答えなさい。【思考・判断・表現】解答番号21～30



① 左のグラフについて、以下の問いに答えなさい。

a. このグラフが示している期間におこなわれていた改革を何というか、答えなさい。解答番号21 *P.144*

b. このグラフおよびこの時代に関する出来事について述べた以下の文章の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。解答番号22 *P.144*

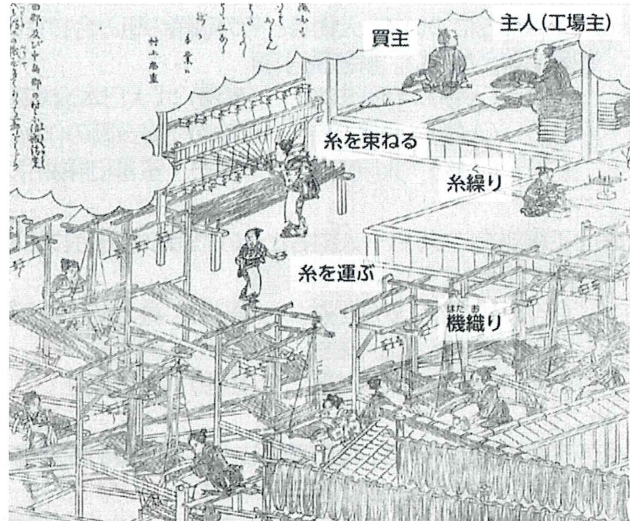
(X) 天領総石高も年貢収納高も、ともに順調な増加をみせた。

(Y) この時期には、人材登用のための足高の制や、諸大名への上げ米などがおこなわれた。

(ア) X-正 Y-正 (イ) X-正 Y-誤 (ウ) X-誤 Y-正 (エ) X-誤 Y-誤

- ⑤ 右の写真のように、一つの作業場で、分業制で生産がおこなわれる、織物業の一部で生まれた形態を何というか。漢字で答えなさい。解答番号 30

R-149



4. 「江戸時代の中期・後期の文化」について、次の各問に答えなさい。

- (1) 次の文章を読み、下の①～⑧の問いに答えなさい。【知識・技能】解答番号 31～40

① 18 世紀後半～19 世紀前半の文化は、庶民を中心に花開いた文化であった。多くの娯楽小説(戯作)が刊行され、貸本屋が繁盛した。教育も浸透して②庶民の識字率が向上し、人々は文芸に親しんだ。石田梅岩がおこした(31)は、生活倫理や商業の正当性を分かりやすく説いたので、町人に受け入れられた。また、③諸藩でも教育熱が高まりをみせ、地方の文化の向上に貢献した。

学問の分野は、多岐にわたった。本居宣長が大成させた(32)は、のちの尊王攘夷運動につながった。実学の分野では(33)を習得する動きが出てきた。④医学の分野では翻訳本が出版され、塾が多く開かれた。また、⑤天文学・地理の分野でも大きな進歩がみられた。このような学問の進展は、⑥社会変革を求める声になるとともに、⑦新たな経済思想をも生み出していった。

- ① 文中の空欄 31～33 に当てはまる語を、下の語群から 1 つずつ選び、記号で答えなさい。解答番号 31～33
語群：(ア) 心学 (イ) 漢学 (ウ) 蘭学 (エ) 儒学 (オ) 国学

- ② 下線部①について、この時代の文化の時期と元号(年号)の組み合わせとして正しいものを、下の(ア)～(エ)より二つ選び、記号で答えなさい。解答番号 34-1・34-2

- (ア) (時期)：18 世紀後半 (文化の名称)：文化・文政期
(イ) (時期)：18 世紀後半 (文化の名称)：宝暦・天明期
(ウ) (時期)：19 世紀前半 (文化の名称)：文化・文政期
(エ) (時期)：19 世紀前半 (文化の名称)：宝暦・天明期

- ③ 下線部②について、庶民の子弟が学ぶことのできる学校を何というか、答えなさい。解答番号 35

- ④ 下線部③について、諸藩の武士の子弟のみが入学を許された学校を何というか、答えなさい。解答番号 36

- ⑤ 下線部④について述べた以下の文章の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。解答番号 37

- (X) 杉田玄白や前野良沢らによって『解体新書』が翻訳出版された。
(Y) オランダ商館医のシーボルトは、大坂に適塾を開いた。
(ア) X—正 Y—正 (イ) X—正 Y—誤 (ウ) X—誤 Y—正 (エ) X—誤 Y—誤

⑥ 下線部⑤について、人物名とその事績の組み合わせとして誤っているものを、下の(ア)～(ウ)より一つ選び、記号で答えなさい。解答番号 38

- (ア) (人物)：伊能忠敬 (事績)：『大日本沿海輿地全図』の作成
(イ) (人物)：高橋至時 (事績)：寛政暦の作成
(ウ) (人物)：大原幽学 (事績)：蛮書和解御用の設置

P.153

⑦ 下線部⑥について、人物名とその思想の組み合わせとして誤っているものを、下の(ア)～(ウ)より一つ選び、記号で答えなさい。解答番号 39

- (ア) (人物)：安藤昌益 (思想)：身分制社会の否定
(イ) (人物)：山片蟠桃 (思想)：無神論
(ウ) (人物)：富永仲基 (思想)：復古神道

P.153

P.153

⑧ 下線部⑦について、『経済要録』などで産業の国営化と貿易強化を説いた人物を、下の(ア)～(エ)より一つ選び、記号で答えなさい。解答番号 40

- (ア) 大蔵永常 (イ) 佐藤信淵 (ウ) 二宮尊徳 (エ) 本多利明

P.153